

令和5年度

校長室だより10月号 No.6

宝達志水町立押水第一小学校 R5.10.25

秋が深まってきました

厳しい残暑もようやくおさまり、急速に秋が深まってまいりました。色づき始めた宝達山からのさわやかな風や地元食材の秋の味覚が並ぶ給食にも本格的な秋の訪れを感じます。

さて、夏休み明けの9月から10月にかけて、押水第一小学校では様々な行事・活動等を実施することができました。次頁以降にも紹介させていただいておりますが、「自衛隊駐屯地での防災体験活動」「ハートフルいしかわ学校講演の公開ラジオ収録」「オーケストラアンサンブル金沢ミニコンサート鑑賞」「鹿島少年自然の家での宿泊体験学習」「低・高学年に分かれてのバス遠足」「鉄棒・マット・跳び箱の器械運動発表会」等々です。

2学期当初は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が非常に懸念され、実際に県内のいくつかの公立学校で学級閉鎖等の措置が取られたとの報道もありましたが、幸いにも本校におきましてはそのような事態になることなく、計画していた行事や活動を予定通り実施することができています。これもひとえに、児童の健康・体調管理に細心のご留意を配っていただいております保護者の皆様のおかげと改めて感謝せずにはいられません。誠にありがとうございます。

10月末や11月以降におきましても、「いしかわ百万石文化祭とタイアップした町文化祭での作品展示」「いしかわ教育ウィーク」での授業参観・音楽集会等が予定されています。今後も児童が充実した学校生活を送り「実りの秋」となりますよう職員一同しっかりと努めていきたいと存じます。保護者の皆様におかれましては、引き続きご理解とご協力の程、何卒お願いいたします。



いしかわ百万石文化祭

例年、文化の日に合わせて開催されている「町文化祭」ですが、本年度は「いしかわ百万石文化祭2023」とタイアップし、宝達志水町『いざ！末森城ものがたり』と題して、下記の日時・場所で児童の作品が展示されます。

テーマは「宝達志水町の歴史」で、本町にかかわりのある歴史的な建造物等を取り上げた作品となっています。

よろしければぜひご覧になってください。

いしかわ百万石文化祭2023
宝達志水町『いざ！末森城ものがたり』

日時 10月27日（金）～29日（日）

場所 さくらドーム3階「なぎさ」ホール



昨年度の出展作品

「文化の秋」、「読書の秋」、「スポーツの秋」！

自衛隊駐屯地で防災体験

9月14日、本校、宝達小学校、相見小学校の3校の6年生で、金沢市平和町の自衛隊駐屯地を訪問しました。火起こしやテント設営、ロープワーク体験や担架作り体験など、他校の児童と関わり合いながら行いました。今回の体験はいつ起こるか分からない災害時に役立つことも多かったものと思います。いつ起こるか分からない災害に備える意識を持ち続けることの大切さを学びました。



ラジオ番組 公開収録 ～ハートフルいしかわ学校講演～

9月22日(金)、ラジオかなざわの公開収録がありました。「ハートフルいしかわ学校講演」として行われた1・2・3年生の授業です。講師の中元ミレイさんは、上手に子どもたちの心をつかみ、楽しくダンスを教えてください、宝達志水町に伝わるお話を演技力たっぷりに語ってくださったりしました。あっという間の45分間でした。

放送はラジオ金沢およびインターネットサイマルラジオで10月14日と28日(再放送)で、楽しくダンスに取り組んでいる様子が伝わってくるようでした。



オーケストラアンサンブル金沢ミニコンサート

9月27日、本校、宝達小、相見小の3校の全校児童が一堂に会して、オーケストラを鑑賞しました。青島広志先生の愉快なお話と演奏者による素晴らしい演奏が会場中に広がりました。知っている曲や聞いたことのある曲もいくつかあり、児童は、笑ったり、体を揺らしたり一緒に歌ったりしながら、楽しんでいる様子でした。



また2年後、統合小学校の校舎となる現相見小学校の体育館に、3校の全校児童220余名が集い、一足先に統合小学校の雰囲気味わうこともできました。

5・6年宿泊体験学習

9月28日29日に5・6年生が宿泊体験学習で鹿島少年自然の家に行ってきました。当日のお天気がとても心配でしたが、天候に合わせてプログラムを入れ替えるなどして、ほとんどの活動を予定通り行うことができました。子どもたちはこの2日間の中で、自主的に動くことや協働することの大切さをより深く理解したのではないのでしょうか。また、あいさつや返事を当たり前のように行い、時間前行動や各活動の手際のよさ、仲間と協働する姿から、自然の家の職員さんからお褒めの言葉をたくさんいただきました。



バス遠足に行ってきました

10月5日、低学年(1～3年)と高学年(4～6年)に分かれて、バス遠足に行ってきました。

低学年の行き先は、七尾方面で「能登食祭市場」と「のとじま水族館」でした。「能登食祭市場」では遊覧船に乗り、並走するカモメと一緒に船旅を満喫しました。また、「のとじま水族館」ではハロウィーン仕様のイルカショーを楽しみました。

一方、高学年は「金沢港クルーズターミナル」「いしかわ子ども交流センター」「石川県立図書館」等を周遊しました。どの施設も最近整備されたり新装されたりしたものばかりで、行く先々で歓声ももれていました。「いしかわ子ども交流センター」では新しいプラネタリウムで大迫力の映像を楽しんだり、「石川県立図書館」では、360度の視界すべてが本で囲まれている壮観さに圧倒されたりしていました。



4年生 器械運動発表会

10月13日に、4年生が全校児童の前で器械運動を披露しました。4年生は2学期が始まった9月初旬から、この日のために体育の時間はもとより、休み時間も使って練習を重ねてきました。4年生は一見簡単そうに技を披露していました。しかしながら、簡単そうに見えるのは4年生が一生懸命練習してきてその成果があらわれているからと、その力強く確かな演技から感じました。

まさに4年生は、鉄棒・マット・とび箱、それぞれの種目で華麗に技を繰り広げていました。



学校評価・保護者アンケートの記述欄について

9月に学校評価の児童・保護者アンケート結果を報告させていただきました。記述欄におきましては、学校運営や各職員に関して、お褒めの言葉や励ましの言葉を種々いただきました。ありがとうございます。また、アンケートの寄せられた学校への質問・要望等につきまして、以下に回答させていただきます。保護者の皆様にはご迷惑・ご不便をおかけすることもございますが、ご理解の程、何卒お願い申し上げます。

Q. 運動会でお弁当ありになり、荷物等があるのに学校への乗り入れが禁止となり、とても不便でした。もっと児童が多い時でも保護者間で譲り合いながら学校に停めて行っていたのに、何もかも禁止や変更となり、近年はとても不便に感じます。

Q. マチコミで車の止め方のことをよく連絡してくるが、プール側から車出るときに、あの細い道に子供が歩いている横を通っていくことが安全なのか不思議に思う。マラソン大会、スキー合宿など、行事の内容に変更があるが、だんだん残念な方向に行っている。子供のことで、教師の楽な方向に考えた学校方針に見える。意見を言っても聞くだけで変えるつもりもないし、言うだけ無駄な時間になる。子供が楽しく過ごせる学校にしてほしい。

A. 自家用車による児童の送迎等に関しまして、様々にご意見をいただきました。保護者の皆様におかれましては、車での送迎に際して細心の注意を払い、安全に運転いただいておりますこと誠にありがとうございます。また、悪天候や熊出没等の際には、車の止め方などについてご協力を賜り、本当にありがとうございます。ご面倒を感じられていることと誠に申し訳なく存じますが、学校としましては「児童の安全確保の観点から、校庭内において車両と徒歩児童の交錯を最小限にすること」、また「近隣住民の要望や警察からの指導もあり、路上での駐車を避けていただきますこと」、以上の2点から保護者の皆様をお願いしてきたところです。もちろん今の措置が最上のものとは決して思っておりません。より安全で保護者の皆様にご利用しやすい方法があれば、是非ともご教示いただきたいと考えております。児童の安全な送迎について共に考えていければと思っております。何卒お願いいたします。

また、行事内容の変更についてのご指摘もいただきました。お子様に充実した学校生活を体験させたいという保護者の皆様の切なる願いを改めて感じているところです。マラソン大会、スキー合宿などの変更につきましては、教職員数の削減もあり、活動時における安全管理の責任をこれまでと同様に果たすことができないと判断し、コースの変更（マラソン大会）や活動内容自体の変更（スキー合宿をバス遠足に）をさせていただきました。保護者の皆様からすると「先生は楽をしている」と思えるものと推察いたします。そのような不快な思いを抱かせてしまって誠に申し訳ありません。決して楽をしようと考えているわけではありませんが、保護者の皆様に「学校はしっかりと活動している」と感じていただけるよう努めていきたいと思えます。今後ご協力の程よろしくお願いいたします。

Q. マチコミで配付されるプリントを家でプリントアウトしている。いつでもどこでも見ることができるメリットはあるが、プリントアウトする手間も感じる。

A. マスコミ等でも報道されておりますが、学校事務の業務改善・教職員の多忙化改善の取組の一つとして、これまで紙媒体で配付していたプリント等を、本校ではマチコミを通してデータで配信させていただいております。教職員の多忙化改善のねらいは、これまで教員が抱えてきた業務を見直し、捻出された時間を、教員の本務である授業や学習指導を充実させるために、教材研究や授業準備に充てていくことにあります。また、学校事務の業務改善に関しては、例えばこれまで紙媒体で配付していたものをデータで配信することで、紙代・インク代が本校規模の小学校では年間30万円程度節約できるとの試算があります。これを今後、町の教育予算のさらなる充実に繋げていくこともできます。

もちろんご指摘のとおり、これまで紙媒体で確認できたものがデータになったことで、保護者の皆様にはメリットとデメリットの両方があるものと思えます。今後も業務改善を進めていくうえで、「これはどうしても不便である」といった率直なご意見は学校にとっても大変ありがたいものと受け止めております。頂いたご意見に対して100%応じることは難しいことあるのですが、引き続きご意見を聞かせていただければと存じます。よろしく申し上げます。